

コミュニティ通貨を利用した地域貢献型実証実験
～子ども食堂への寄付活動について（寺崎食堂編）～

株式会社ジイ・シイ企画（本社：千葉県佐倉市、代表取締役社長：矢ヶ部啓一、以下 ジイ・シイ企画）は、様々な社会課題を解決するための新規事業として、コミュニティ通貨を利用した研究開発を3年前より着手。2019年2月に産学連携で「持続可能社会のためのコミュニティ通貨研究コンソーシアム」(<https://www.3c3s.org/>)を設立し、様々なプロジェクトを実施。望ましいコミュニティの持続可能性に寄与すべく、次世代技術に支えられたコミュニティ通貨を基軸とした新たな社会経済システムを実現するために必要なデータを収集、解析を行い、その成果を社会実装することを目的として活動しています。

ジイ・シイ企画では、コミュニティ通貨「C.C.Wallet」アプリを活用し、コミュニティ通貨の利用価値の創出や従業員エンゲージメントの向上から自社の商材としての研究やCSR活動を通じた社会貢献活動への利用について幅広く研究しています。

本ニュースリリースでは、研究のひとつであるコミュニティ通貨を利用した地域貢献型実証実験をご紹介します。

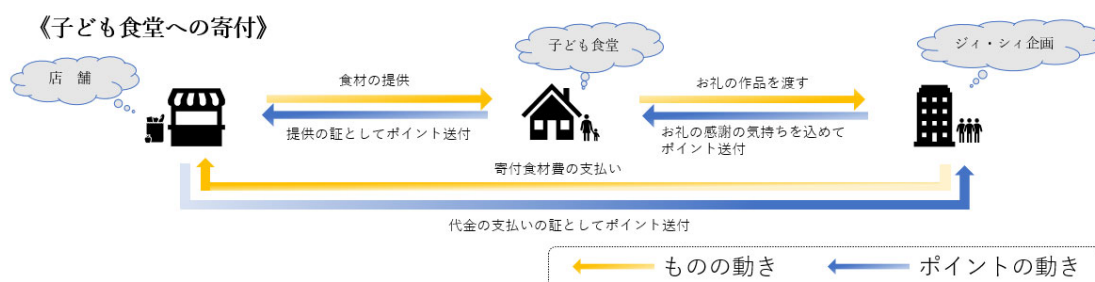
ジイ・シイ企画本社所在地の佐倉市には、子ども食堂が集まる「さくらあったか食堂ネットワーク」があり、現在11の団体が所属しております。その中の2団体と実証実験の一環としてコミュニティ通貨を用いた地域貢献活動に取り組んでいます。

ジイ・シイ企画では全従業員にコミュニティ通貨を付与し、様々な社内活動に利用しております。地域貢献型としては、従業員が所有している通貨を子ども食堂へ寄付する仕組みとして利用し、子供食堂は貯まったコミュニティ通貨を使って加盟店舗にて食材を仕入れ、食材の代金はジイ・シイ企画にて支払いをします。単純に企業が子ども食堂に食材を寄付するのではなく、従業員が寄付し、子どもたちはキーホルダーなどを手作りして社員へのお礼として配布しています。これにより地域コミュニティ内で通貨を循環させることが実証実験の目的となります。

今回、寄付活動をおこなっている寺崎食堂様にコミュニティ通貨を使った寄付についてインタビューをさせていただきました。

コミュニティ通貨を取り入れたCSR活動

当社では、コミュニティ通貨を研究しており、コミュニティ通貨を導入した取り組みをおこなっています。



さくらあったか食堂ネットワーク所属一覧

①こども食堂のき
 「ここにれば、ほっとできる」をコンセプトに環境を整えています。その気持ちも大切にしてこども食堂を開いています。家庭的な雰囲気の中で、大人なテーブルを囲んで笑い声が響いています。地域の赤ちゃんから高齢者まで毎週通い来ています。
 <住所> 佐倉市曙台1-17-1 2F
 <電話番号> 1/F 043-235-8008
 <開催日時> 毎水曜日 6時半~7時半
 <参加費> 子供100円大人400円(会員300円)

②ねのこ食堂
 地域の子どもから大人まで、みんなが笑顔で温かいご飯を食べられる「ねのこ食堂」。地域の居場所でもあり、地域ぐるみで子育て支援の輪が広がると嬉しいですね。
 <住所> 佐倉市城34-5 増穂公民館3階調理室・集客室
 <電話番号> 1/F 043-489-2194 / 2F 043-2573-4823
 <開催日時> 隔月金曜日(月1回) 17:00~19:00
 <参加費> 100円

③おひさまカフェ
 おひさまカフェは高津駅北口より1分。子どもから高齢者までどなたも利用できます。世代を超えておしゃべりしながら楽しいひと時をすごしませんか。
 <住所> 佐倉市上津166-1 ハチヤブカフェビル2F(1Fオープン)
 <電話番号> 1/F 043-209-3275 / 2F 043-209-6276
 <開催日時> 月1回 第3土曜日 11:00~15:00
 <参加費> 小学生未満無料・小学生100円・中学生以上300円

④夕焼けごはん
 一緒に作り、同じく食べられなくても、誰かを思いながらご飯を食べれば、それは「一緒に食べる」ということ。誰か一人の、心ばかりのごちそうが、誰か一人の心を癒すこと。誰か一人の、心ばかりのごちそうが、誰か一人の心を癒すこと。
 <住所> 佐倉市高志2-13-7
 <電話番号> 080-3190-7504
 <開催日時> 毎週金曜日 17:00~19:00
 <参加費> ワンコイン(どんなコインでも可)
 <LINE公式> <https://lin.ee/9n0100>
 <Twitter> <https://twitter.com/ohisamakahaku>

⑤キッズハウスえんげ
 現在の課題を抱える子どもを支援するために、みんなを見守るために見守りたい。空のしほりを感じる場所があれば、そして、親身に関わってくれる人がいて、一歩を踏み出せば、あなたの人生にチャンスと希望が見えてくる。温かいごはん笑顔が待っていますよ！
 <住所> 佐倉市宮小路4-16 コミュニティカフェ えんげもっこハウス
 <電話番号> 1/F 043-494-2807
 <開催日時> 第1、第3土曜日 11:00~15:00 第10月~オープン
 <参加費> 大人300円・高校生まで100円

⑥地域食堂ともいき
 山王小学区を母体とした食堂です。こどもから高齢者までみんなで楽しく食事をしています！地域のファミリーと一緒に作り上げた食堂です。キッズスペースあります。
 <住所> 佐倉市太田1145-1 特別養老老人ホームはろすすてい
 <電話番号> 043-484-6311(堂光本部)
 <開催日時> 毎月第3水曜日
 <参加費> ¥100(大人・子ども共通)
 <URL> <https://www.fc-wish.or.jp/>
 <Twitter> <https://twitter.com/ohisamakahaku>

⑦せんなり村 ぶらあひ食堂
 月に一度の村のばらごはん。夕暮れを迎え、村にはたくさんの人が集ります。ぶらあひ食堂では地域の方、小さな子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで、温かいご飯をみんなで作ってみんなで楽しむことができます。
 <住所> 佐倉市千成3-4-3(千成幼稚園内)
 <電話番号> 043-485-3755(千成幼稚園)
 <開催日時> 月1回、土曜日
 <参加費> 大人300円(賛助会員200円) こども100円

⑧子ども食堂 芽おき
 2019年9月よりユウカリが丘・志保地区でオープンしました。さくらも地域の豊かなスペースをお借りして開催します！どなたでもお気軽にご来場ください。
 <住所> 佐倉市上津1792-1 SAKURA RENTALスペース
 <電話番号> 043-489-8341(総機)
 <開催日時> 第3金曜日 17時~19時
 (現在日程についてはブログご確認ください)
 <参加費> 大人300円 子ども100円
 <URL> <https://ameblo.jp/maki-morokoshi/>

⑨寺崎食堂
 寺崎小学校区の地域食堂です。食堂(お弁当部)、フードバンク活動、居場所づくりをとおして、子ども大人も地域みんながつながりますよ！
 <住所> 佐倉市大崎台4丁目14-7 大崎台4丁目集会所
 <電話番号> 080-3250-2728(野島)/080-3024-3728(櫻井)
 <開催日時> 毎月1回土曜日
 <参加費> 100円(子ども・大人共通)
 <URL> <https://www.facebook.com/terashoku/> (Facebook)
<https://lin.ee/9n0100> (LINE公式アカウント)
 <E-mail> terashoku@gmail.com

⑩みんなの食堂 風車
 居場所事業を10年以上してきたなかで様々な人と出会い、食を通して地域で繋がる場所が必要だと感じました。
 <住所> 佐倉市南台2-14-3
 <URL> <http://www.fushu.net>
 <電話番号> 1/F 043-309-8941(共通)
 <開催日時> 第1・第3土曜日 12:00~14:00
 <参加費> 子ども100円・大人300円・お昼付け参加可
 <URL> <http://www.fushu.net>

⑪メリーゴーランド
 幼稚園給食のノウハウを活かしたこども食堂を江戸台にて開催します。こどもたちの大好物をメインに、つつましいおばあちゃんのお話もつけあわせランチです。是非食べに来て下さい。
 <住所> 佐倉市江戸台2-29-8
 <電話番号> 1/F 043-489-6442(共通)
 <開催日時> 第2土曜日 11:00~14:00
 <参加費> 大人300円・子ども無料
 ※現金、Take Out Onlyです。

⑨寺崎食堂

立ち上げ：2020年2月
 活動内容：子ども(地域)食堂：毎月1回 土曜日
 フードパントリー：3カ月に1回
 活動場所：大崎台4丁目集会所
 寺崎小学校昇降口前 など
 食堂参加費：100円(子ども・大人共通)
 活動スタッフ：11名

地域住民、福祉関係者、民生委員児童委員、市議会議員、元教員などが在籍



<https://www.facebook.com/terashoku/>

子ども食堂の声【寺崎食堂】



寺崎食堂の活動内容を教えてください。

寺崎食堂は3本の柱を軸に活動しています。一つ目に「こども食堂」。コロナの影響により、食堂としての活動はおこなえていませんが、お弁当を配布するかたちで活動をしています。次に「フードバンク」です。地域の方や支援団体からいただいた食料品を子育て世帯や定時制高校・日本語学校に通う生徒さんなどに届けています。最後に「こどもの居場所づくり」です。学校や家庭の他にも、安心できる居場所や相談場所づくりをおこなっていきたいと思います。



当社から「コミュニティ通貨を使った寄付」について提案された時の気持ちをお聞かせください。

人と人とのつながりをつくっていくのがこども食堂の役割だと思っています。たくさんの人が関わるシステムをつくってくれるのはありがたい！と思いました。



実際、コミュニティ通貨を使ったシステムを使ってみていかがでしたか？

市内外の企業からお金や品物を寄付いただくことはありますが、このシステムを取り入れることで従業員の皆さんも寺崎食堂のことを知ってくださり、それぞれがコミュニティ通貨を送ってくれることで企業としてだけでなく従業員の方の寄付の気持ちを感じることができるのは本当に嬉しいです。また、様々な食品をいただくことができるので食材の片寄りがなく、加工品に頼るのではなく手作りにこだわり栄養バランスのとれたメニューのお弁当をお届けすることができます。



今後、コミュニティ通貨を使ったやりとりに期待することを教えてください。

今、利用できる店舗は市内ではあるけども、寺崎地区の商店で使えるようになれば地域のつながりがより深まるのではないかと思います。



寺崎食堂は子どもたちにとって、どのような存在でありたいと考えていますか？

寺崎食堂は子どもだけでなく誰でも気軽に集まることができる場所にしたいと考えています。老々世帯や単身者も多く、食堂を通してふだんから顔が見える関係があれば、災害等が起こった時にもより安心できる地域になると思います。どんな人でも参加できる地域食堂を目指していきます。



ありがとうございました。

このコミュニティ通貨を使ったシステムがより使いやすいものになるよう今後も様々なご意見をお聞かせいただければと思います。引き続き、宜しく願いいたします。

コミュニティ通貨は一定の地域内や限られた会員の間でのみ流通する価値交換システムです。主にボランティア的なサービスの提供や、相互扶助の手段として使われ、持続可能な自立型の社会を形成やコミュニティの活性化など様々な目的で使用します。

ジイ・シイ企画は自社が持っている決済技術を応用してコミュニティ通貨システムを開発しました。コミュニティ通貨の利用価値の創出や従業員エンゲージメントの向上を目指しコミュニティ通貨の社会実装を目指します。